

学校教育目標	それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部				
	・それぞれが飛べ : 自ら問題を発見し、ねばり強く課題解決に取り組み、心と体を鍛え、自分のよさを見つけ、自分を大切にすること ・みんなで翔べ : まちの人や友達から学び、そのよさを見つけられること ・ゆめいっぱい戸部: まちとの関わりを通して、広い視野をもち、まちと共に生きること				
学校概要	創立 147 周年	学校長 佐藤 朗子	副校長 森岡 文浩	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 406 人 主な関係校: 老松中学校 一本松小学校 東小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	老松中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<夢をもち、夢を実現する力>	老松中学校 一本松小学校 東小学校	○主体的に学習に取り組み、情報活用しながら、学びを人生や社会に活かそうとする子ども ○心身の健康と思いやりの心を大切にし、礼儀を重んじる子ども ○「すべての子どもの資質能力の向上」を目指した小中児童生徒・小中教職員の交流(公開授業、授業研究、各種研修会、学校行事等での交流の実施) ○「誰一人取り残さない教育」の実現を目指した児童支援専任・生徒指導専任を核とする情報共有

中期取組目標	「子どもが主人公の学校」 子ども自らが本気で実現したい夢をもち、その夢の実現に向けて、子ども自らが学びをつくり出し、友達やまちの人たちと一緒に全力・本気で取り組み、まちとともに生きる子どもを育てます。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや願いを大切にしながら授業を進めます。 ・友達やまちの人たちとのつながりの強さを意識し、豊かな体験を通してまちを愛する心を育てます。 ・一人ひとりを見取り寄り添い、データも活用しながら、誰もが安心して学校生活を送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>推進委員会</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	推進委員会	子ども一人一人が自分自身を理解し、将来や社会とのつながりを見据えて主体的に学び続ける力を育成するため、子どもの思いや願いを生かした教育活動を推進する。生活科及び総合的な学習の時間を中心に、興味・関心や夢、目標をもとに学習のめあてや課題を設定し、学びの過程を大切に指導を行う。また、ICT端末を活用した振り返りや自己評価を通して、自己理解を基盤とした主体的な学びの充実を図る。
知	授業改善				
担当	推進委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育部</td> </tr> </table>	徳	人権教育	担当	特別支援教育部	◇道徳の授業や、日ごろの学習活動、人権講演会などを通して人権教育に取り組むとともに、子ども会議のテーマについて話し合い、子どもたちの意見を取り入れながら、「誰もが安心して豊かに」過ごせる学校づくりを推進する。◇縦割りの「とべフレーム」を中心に、1年生を迎える会、集会、全校遠足、とべとべスポーツフェスティバル等を推進し、異学年の友達を理解し、仲良く交流する力を育む。
徳	人権教育				
担当	特別支援教育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育・食育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健康教育・食育	担当	体育部	◇休み時間のボール等の利用や体育館の開放、スポーツ委員会が計画・立案する体力アップ週間等を通して、一人ひとりの体力向上を目指す。◇学校内科医や技術員など、健康や清掃の専門家から話を聞き、掃除の必要性や重要性に気づき、清掃用具の正しい使い方を知り、実践していけるようにする。◇ばくばくだよりや栄養黒板、動画等を活用し、食育の充実を図る。
体	健康教育・食育				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td style="background-color: yellow;">自分づくり教育(キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童活動部会</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育(キャリア教育)	担当	児童活動部会	◇どの学習においても、友達やまちの人との関わりを意識して学習を行い、自己の成長や変容を見つめ直し、可能性に気付いたり自信を高めたりしていけるようにする。◇自分づくりパスポートに「自分のよいところ」を書き込む枠を追加し、児童が自覚できる場をつくるとともに、個に応じた支援を検討して自己有用感の向上を図る。◇行事や児童会活動等、様々な場面で他学年と関わる中で、多様な個性や環境を理解して、自ら協働的に行動できるようにする。
公開	自分づくり教育(キャリア教育)				
担当	児童活動部会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	◇「いじめ防止基本方針」のもと児童支援専任を中心に、全職員で全児童の理解に努め、共通の認識・判断基準で指導にあたる。また、丁寧な実態把握に基づく早期発見・早期対応に努め、きめ細かい対応をする。◇月に1回いじめ防止対策委員会を開き、職員会議にて情報共有を行い、児童理解を図る。また、必要に応じて臨時開催をし、迅速に対応にあたる。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	◇昨年度に引き続き初任研を校内方式(学年主任が指導)で実施し、課題に応じた研修を丁寧に行っていく。◇デジタル機器やGoogle等の機能を活用し、情報の共有化や事務の効率化を図り、組織的な働き方改革につなげる。◇重点研究の組織を再編成し、研究に関わる内容の共有及び効率化を図る。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育部</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援教育部	◇専任・特別支援教育コーディネーターを中心に、地域、保護者、専門機関などと連携し、困り感のある児童や家庭をチームで支援していく。◇支援が必要な子どもの理解と、支援方法や交流学习の在り方について教職員が研修し、特別支援教育への理解を深める。子どもたちの思いに寄り添いながら、オンライン学習の効果的な活用について検討し、共有する。
特別支援教育					
担当	特別支援教育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童生徒指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育部</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	特別支援教育部	◇あいさつや返事をする大切さを繰り返し伝えていく。また、時や場所、相手にあったあいさつや言葉遣いができるように指導する。◇「戸部小のやくそく」、教職員用共通理解事項を活用し、教職員が同じ指導ができるようにしていく。◇「Y-Pアセスメント」を活用した児童や学級風土の状況把握に努め、適切な支援や授業改善につなげる。
児童生徒指導					
担当	特別支援教育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部	◇保護者・地域との協働による特色を生かした教育を継続し、子ども主体の教育を推進するために、PTA、学校運営協議会、共有倶楽部との連携を継続して行っていく。また、学習支援ボランティアの募集及び運営については、引き続き共有倶楽部が中心に行う。◇各行事のアンケートや学校評価アンケートを通して、学校経営に生かしていく。
地域学校協働活動					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">#REF!</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>#REF!</td> </tr> </table>	#REF!		担当	#REF!	
#REF!					
担当	#REF!				